

平成25年度地区まちづくり協議会活動報告の内容

番号	内容
	地区まちづくり協議会名
	地区まちづくり協議会の認定日
	地区まちづくり計画の認定日
	地区まちづくり協議会の活動テーマ(認定申請書より)
	今年度(H25.4.1～H26.3.31)の主な活動の内容について (会議やイベントなどの参加人数)
	今年度活動をすすめられた中で、評価できることは どのようなことか。 (よかったこと、成功したこと)
	今年度、活動をすすめられた中で、どういった課題があった か。それらを解決するためにどのように取り組まれたか。もし くは、今後、どのように改善したいか。
	まちづくり活動支援制度の活用状況

平成25年度 地区まちづくり協議会活動報告

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

名称	協議会 認定日	計画 認定日	協議会の活動テーマ (認定申請書より)	平成25年度活動内容	よかったこと、評価できること	課題や問題の解決に向けての取り組み、改善	まちづくり活動支援
1 白川地区 まちづくり協議会	H20年 6月26日	未	1) 白川地区の良好な景観形成を目指し、景観の保全と育成を検討する。 2) 白川地区の歴史文化の保全と継承及び観光振興のため、金色院跡などの文化財保護や整備を検討する。 3) 白川地区の交通問題の解決に向けて、道路等のあり方について検討する。 4) 白川地区の特産である茶業の振興に向けて検討する。 5) 白川地区の福祉の充実に に向けて検討する。	5月10日 まちづくりに関するアンケート調査 7月7日 第1回まちづくり協議会・全体会議開催 (20名) 【内 容】 諸課題検討 8月11日 第2回まちづくり協議会・全体会議開催 (30名) 【内 容】 法規制の課題(市より説明) 課題検討 10月6日 第3回まちづくり協議会・全体会議開催 (22名) 【内 容】 協議会内容まとめと地図への記入、キャッチフレーズ決定 (白川を元気なまちに！～宇治茶の香りと歴史文化の里～) 10月12日 幹事会開催 (10名) 【内 容】 イベント準備について 10月18日 文化講演会開催 (40名) 【内 容】 『文化的景観を活かした「もうかる」地域づくり』 溝淵博彦氏 11月3日 第5回 白川金色院平安ロマンイベント 【内 容】 市民バンド演奏会 (30名)、出店・販売 スタンプラリー (600名)、落語会 (30名) 11月4日 白川金色院平安ロマンの夕べ開催 (400名) 【内 容】 万灯籠実施 2月1日 第4回まちづくり協議会・全体会議開催 (20名) 【内 容】 計画経緯、歴史、計画基本方針、全体目標、計画推進について 3月16日 白川高齢者(シニア)の集い開催 (33名) 【内 容】 会の立ち上げに関する役員選出、名称決定、計画、予算	キャッチフレーズ決定 まちづくり計画案を文書 化 サロン白川立ち上げ	白川金色院平安ロマンの 毎年開催は困難であるため、 2,3年に一度にしてはとの意 見あり 委員就任時期や一年交 代による変動により組織が機 能にくい イベント内容、方法、人材 確保を検討 委員任期2年を検討	・ 出前講座 H25年8月11日 「白川地区での 土地利用規制 等」 ・ まちづくり専門 家派遣 H25年10月18日 「協議会活動の 今後について」 講師:森正美
2 南陵町地区 まちづくり協議会	H20年 12月8日	H23年 10月14日	よい町を育てゆくことを目 的とし安心、安全、良好な住 環境を守る為の活動。	4月1日 協議会改正規約を自治会だより、町内、宇治市広報板に掲示 5月10日 安心・安全に関する連絡会開催 (13名) 【内 容】 環境管理、空家・空地管理、災害防止 7月13日 第34回南陵町地区まちづくり協議会会議開催 (16名) 【内 容】 協定8・9条の現況、空家・空地管理状態、 役員役割分担活動報告 7月20日 市民参加型まちづくりパネル展参加 8月10日 空家・空地管理状態確認・報告 【内 容】 管理不適切地権者に草刈り等管理要請 9月8日 パネル展原稿内覧会 (委員17名) 11月9日 防災訓練 1月26日 第35回南陵町地区まちづくり協議会会議開催 (17名) 【内 容】 まちづくり計画覚書について説明 3月23日 協議会・自治会事業報告 【内 容】 平成25年度活動報告・協定8・9条の現況報告を 自治会だよりに掲載 区住環境管理委員活動報告 3月30日 空家・空地管理状態確認・報告	地区まちづくり計画を遵 守した建設が引き続き行わ れていて、計画の定着を実感 している。 空家・空地対応が機敏に なってきた。	空家・空地が増加し、所 有者や連絡者を把握しきれ ていない。 自治会区長や班長の協 力を経て数件連絡先が判明	-

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

名称	協議会 認定日	計画 認定日	協議会の活動テーマ (認定申請書より)	平成25年度活動内容	よかったこと、評価できること	課題や問題の解決に向けての取り組み、改善	まちづくり活動支援
3 南御蔵山地区 まちづくり協議会	H21年 8月14日	未	本協議会は、緑ゆたかで閑静な住環境を維持し、住民の快適で安全な生活を守ることを目標としたまちづくりの実現に向けて、その具体化と推進をはかることを目的とする。	5月19日 第1回協議会役員会開催 (9名) 6月 8日 第2回協議会役員会開催 (10名) 7月28日 第3回協議会役員会開催 (9名) 【内 容】 まちづくり計画に建築に関する念書を導入 パネル展に資料提出 協議会定時総会開催 (25名) 8月 4日 D街区開発に関する業者説明会開催 (27名) 【内 容】 町内の迷惑行為問題について事情聴取 9月 1日 第4回協議会役員会開催 (8名) 9月26日 宇治市と面談 10月20日 第5回協議会役員会開催 (9名) 【内 容】 計画素案の修正 10月24日 まちづくり審議会 協議会臨時総会開催 (29名) 【内 容】 計画素案の承認 11月24日 第6回協議会役員会開催 (7名) 12月 1日 町内での宗教施設(協会)建築に関する説明会 12月 8日 平尾自治会と道路に関する協定締結 まちづくり計画説明会の開催:異論があり再調整 12月22日 第7回協議会役員会開催 (6名) 【内 容】 同意取得の延期 1月19日 第8回協議会役員会開催 (8名) 2月16日 第9回協議会役員会開催 (9名) 協議会臨時総会開催 (32名) 【内 容】 協議会規約の修正 3月25日 第10回協議会役員会開催 (9名)	規約の見直し・隣接自治会との協議・地域内の建設問題など、処理が必要な案件をひとつずつ着実に処理することができた。 まちづくり計画素案を策定できた。	建設問題に対して住民間で温度差があり、意見を十分にまとめきれなかった。 まちづくり計画について、様々な意見があり、調整のため一時説明会の開催ができないう状態になった。 協議会の不手際による計画素案やり直し	-
4 宇治市北の玄関 街づくり協議会	H21年 9月25日	未	六地蔵地区並びに木幡御蔵山地域の一部の都市機能と生活環境の向上をはかり、安全かつ快適で文化的な街づくりを推進することを目的とする。	5月16日 総会開催 (14名) 7月11日 定例会開催 (8名) 8月 8日 山本市長と面談 (3名) 【内 容】 サポート道路・車歩道などについて 9月12日 定例会開催 (7名) 10月 6日 六地蔵地域自主防災訓練開催 (200名) 10月17日 セレマ建築計画変更の説明会 (13名) 11月 3日 ちびっこみこし祭開催 (600名) 11月14日 定例会開催 (13名) 【内 容】 宇治市からサポート道路の進捗状況について説明を受ける 12月28日 歳末防犯パトロール実施 (60名) 1月 9日 定例会 (14名、村田府議、坂下・松峯市議出席) 1月23日 セレマ、北斗工業と3者で建築工事協定締結 3月13日 定例会開催 (13名) 【内 容】 宇治市から奈良線複線化工事について説明を受ける 3月26日 JR奈良線複線化事業の説明会出席 (1名)	サポート道路計画の事業推進が見えた。 地区内建築計画が事前に掌握できた。	道路交通の問題 サポート道路につき少し進展した。引き続き早期開通に向けて促進運動を続ける。 奈良線複線化に伴う六地蔵駅改修について地元の要望を支援して欲しい。	-

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

名称	協議会 認定日	計画 認定日	協議会の活動テーマ (認定申請書より)	平成25年度活動内容	よかったこと、評価できること	課題や問題の解決に向けての取り組み、改善	まちづくり活動支援
5 志津川地区まちづくり協議会	H22年 2月8日	未	・ 緑豊かな美しい自然を生かしたまちづくり ・ 生涯住み続けられる住環境をつくるまちづくり ・ 助け合って生きていけるまちづくりを目標としたまちづくりを行うことを目的とする。	4月27日 第3回まちづくり協議会総会開催 【内 容】 前年度経過報告と2013年度の取り組み (・鳥獣被害防護柵・第2園芸広場運営と無人販売所活用 ・災害対策 区、自主防災会との共同 ・災害記録集発行 里山再生 間伐林問題、竹林再生) 特別報告 紺谷吉弘先生 「志津川周辺地域の成り立ちと防災対策について」 6月22日 役員会 【内 容】 豪雨災害と今後の取り組み、災害記録誌、追悼式への協力 7月13日 志津川区自主防災会と協力して避難訓練 (130名) 8月14日 災害記録誌発行、追悼式 9月16日 台風18号により農業用水路が破損し緊急作業 (11名) 9月28日 パーベキューで懇親会 (20名) 9月30日 台風18号被害状況調査 (7名) 10月 1日 防護柵被害状況を市農林茶業課に報告 10月10日 日本探礦探石跡地で北桑田高校が試験緑化 (4名) 10月26日 秋のクリーン活動 (70名) 11月20日 上之町土砂災害地復旧工事市説明会 (4名) 11月27日 池の尾川工事延長市説明会 (8名) 12月14,15日 2013京都環境フェスティバルに参加 (8名) 【内 容】 8月豪雨災害の状況写真と区民の要望などパネル展示 12月7,8日 志津川福祉の園陶器まつりにて餅つき・果物コーナー支援 12月23日 河川クリーン活動 (25名) 1月18日 役員会 【内 容】 2014年のまち協の取り組み 2月22日 防護柵設置作業 (33名) 12月26日 災害復旧工事(前川橋架け替え)の進捗状況市説明 (3名) 12月27日 災害復旧工事進捗状況府説明 (10名) 1月16日 支川「逃谷」対策 府説明 (5名) 2月 6日 滋賀県湖南市石部南まち協31名「被災地研修」対応 (4名) 2月 8日 雪で神社の古木が倒壊 宮総代、まち協役員等で撤去 (10名) 2月22日 防護柵設置作業 (10名)	まち協会員が中心となってH24年豪雨災害の復旧を行った。 台風18号時においてもまち協が中心となって復旧活動を行った。 災害記録誌の発行、他まち協との交流により先進地の取組を学ぶことができた。	役員会議の開催が不十分 結成当初のように定例開催に努める ダンプカー走行による騒音、振動、粉塵問題や、資材置き場の騒音問題に対して、業者への改善要望申入れ等を行ったが未解決	・ 活動費助成 対象金額: 604,000円 助成金:300,000円 内容:協議会 ニュース印刷費、 災害記録誌
6 明星町地区 まちづくり協議会	H22年 6月11日	未	明星町地区の住環境を良好に保ち、健康で安心できる、安全で、住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向けて、その具体化と推進を図ることを目的とする。	4月29日 原発被災者救援フリーマーケット開催 【内 容】 「明星園と地域と仲間たちとのつどい」にて開催。出店数6店。 福島からの避難者に売上の1割と寄付金10,047円を義援金としてお渡しした。 5月、6月、7月 夜間路上駐車調査 【内 容】 防災、防犯のため調査。 5月:65台、6月:48台、7月:100台の違法駐車があり、結果を自治会回覧で報告。 10月14日 第2回明星町秋まつり開催 【内 容】 子ども神輿、露店、フリマ等 (子ども会を中心に約400名) 福島からの避難者に義援金22,285円をお渡しした。 12月22日 竹ひご手作りタコ教室開催 (約30名の親子) 1月 凧揚げ大会開催 【内 容】 三室戸小学校で開催された左義長の後、タコ教室で作成した凧揚げ。 3月30日 子ども餅つき大会開催 【内 容】 初めて開催した (約80名の親子)	バス路線廃止問題について、26年度4月から「宇治市のりあい交通事業」に基づき宇治市、明星町自治会からの赤字補てんでバス路線継続が決定した。 明星町秋まつりのスタッフ増員により参加者が増加した。 区内での新築に際する「建築工事施工にあたってのお願い」が施工者から多数提出があった。	自治会とのかかわり、住民の参加協力が難しさもあった。 自治会との関係を深める。 イベント毎にプロジェクトチームを立ち上げ住民参加を呼び掛ける。	-